

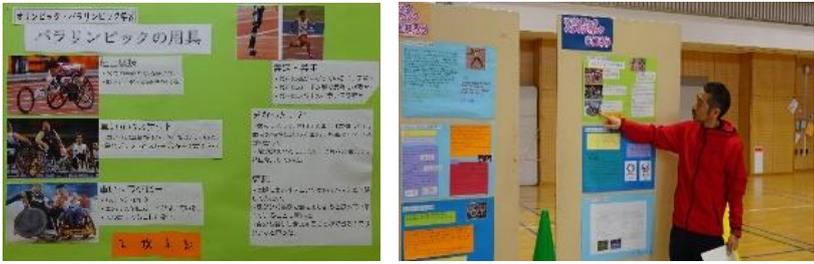
2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

学校名【 宮城県立拓桃支援学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）								
2 実施対象者 (学年・人数)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">小学部 低学年6名</td> <td style="width: 25%;">中学年2名</td> <td style="width: 25%;">高学年7名</td> <td style="width: 25%;">計15名</td> </tr> <tr> <td>中学部 1学年4名</td> <td>2学年6名</td> <td>3学年1名</td> <td>計11名</td> </tr> </table>	小学部 低学年6名	中学年2名	高学年7名	計15名	中学部 1学年4名	2学年6名	3学年1名	計11名
小学部 低学年6名	中学年2名	高学年7名	計15名						
中学部 1学年4名	2学年6名	3学年1名	計11名						
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名 (保健体育) 中学部 ② 行事名 (文化祭) 中学部 ③ その他 (学級活動) 小学部 <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 () ② その他 () 								
4 目標 (ねらい)	調べ学習や教材を活用した学習を通して、オリンピック、パラリンピックの意義や歴史についての理解を深め、東京オリンピック・パラリンピックへの興味関心を持つ。								
5 取組内容	<p>(1) 小学部の取組 「パラリンピック実施競技について知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020パラリンピック競技紹介動画を視聴した。 ・東京2020パラリンピックスポーツピクトグラムかるたを実践した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 中学部の取組 「オリンピック・パラリンピックの知識を深めよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック学習読本を活用した歴史や意義などの概要説明を行った。 ・生徒一人一人がテーマを決定し、調査・資料の収集、研究をした。 ・報告会をした。 ・文化祭で展示した。 								

	
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 小学部の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> • 動画視聴，かるた体験を通して，それぞれの競技の特性について理解することができた。本校に在籍する肢体不自由・病弱の児童にとっては，同じように障害があるパラアスリートの活躍を知ることによって，自己肯定感を高めることができた。 <p>(2) 中学部1～3年の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生徒の多くが有意義な学習であったと感想を述べていた。 • 生徒の感想より。 「実際に車いすテニスや車いすバスケットを体験してみたい。」 「自分も競技に参加できるのではないかと思った。」 「テレビや新聞，ネットで車いすバスケットボールの情報が出たら見てみようと思った。」 「車椅子の人でも，スポーツを楽しめるということが分かりました。」 「エンブレムには，いろいろな思いが込められていることが分かった。」 • 文化祭に展示したことで，保護者や病院関係者（本校は病院併設の支援学校である）の方々にもオリンピック・パラリンピックについて知ってもらうことができた。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>(1) 小学部の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> • できるだけ多くの児童がオリンピック，パラリンピックに関心を持てるように，児童が参加しやすい活動（動画視聴・かるた遊び）を設定することを心掛けた。 <p>(2) 中学部の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> • 情報を収集する際には，読本や動画・画像を活用・提供するなど視覚的な支援を心掛けた。 • 在籍生徒が少人数のため，テーマが偏らないように，様々な分野のテーマを準備し，選択する方法で決定した。 • 報告会をすることで，それぞれの研究内容を共有することができた。 • 報告会では，担当教諭がそれぞれの研究内容に対して補足説明することで，より正確な情報を提供した。
<p>8 主な課題等</p>	<p>(1) 小学部の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> • オリンピック，パラリンピックに関心を持った児童が進んで調べられる環境を設定することで，より効果的な活動になる。 <p>(2) 中学部の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> • 生徒数が多い場合には，小グループを編成し，話し合い活動を充実されると良い。

	<ul style="list-style-type: none">• 自分（たち）で、オリンピック、パラリンピックに関心や疑問を持ってテーマが設定できるようなオリエンテーションを心掛ける。
9来年度以降の 実施予定	<ul style="list-style-type: none">• 一過性の取組で終わることなく、継続・発展させていきたい。• オリンピック、パラリンピック競技を積極的に授業に取り入れていきたい。